



学校だより

令和3年11月30日

12月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



「子どもに学ぶ未来」

校長 住田 昌治

今年の運動会は2学年ずつ、3日間にわたって分散で行いました。子どもたちは、分散であっても、運動会のできる喜び、保護者の皆様に見ていただける嬉しさを感じながら、楽しい時間を過ごしました。また、開閉会式を担当した子どもたちは、全校放送ではありましたが大変緊張したと思います。そして閉会式終わりの言葉、5年生代表児童がこのような言葉で締めくくりました。

「これまでのような得点争いや応援合戦、優勝を目指して競い合うことはありませんでした。しかし、みんなで一つの目標に向かって頑張り、一つの作品を完成させるために、一人一人が自分の頑張りを表現しました。『競い合う運動会』から『協力する運動会』になったと思います。来年も、みんなで協力して楽しい運動会をつくっていきたいと思います」(要約)

いかがでしょうか？子どもたちは気付いているのです。コロナ禍において今までどおりにできない代わりに、協力して一つの目標を実現するという「新しい価値」を生み出したことに。「全校で2000回」を目指した長縄チャレンジ。自分のタブレットのプログラミングアプリによって、運動会で自分や仲間の頑張りや廊下や天井に映し出したプロジェクションマッピング。子どもたちだけでなく、教職員や来校者、YouTubeで見た保護者も大変な喜びと満足感を得ることができたのではないのでしょうか。

このことから、子どもたちに学ぶことで未来への希望と期待が持てると思いませんか。「予測可能な未来」は、子どもたちの希望と期待なのではないのでしょうか。そうであるならば、子どもたちの参画を進め、持続可能な未来社会の主人公である子どもたちを中心にした学校や社会に変えていくことが必要なのではないのでしょうか。今こそ、子どもが主人公の学校や社会づくりを本気で考え、実現していくときなのだと考えます。

コロナ禍においても、いろいろな場面で「生き生き日枝っ子」の姿を見せてくれていることは、大きな喜びです。今後の成長にも期待したいと思います。

運動会当日、各家庭2名の参加にさせていただきましたが、子ども達を温かく見守っていただきありがとうございました。お陰様で大きな混乱もなく運動会を実施することができました。現在、行事等も少しずつ実施し始めています。予定通りに行うことは難しいと思いますが、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

